

場所による非常錠の選定方法




■非常口に適した錠前

非常錠を選定される場合には、各地域の火災予防条例に従って錠前をお選びください。ただし、非常錠の決定は各現場ごとの消防計画により、総合的な見地より判断される場合もありますので、必ず所轄の消防署予防課担当官に事前に確認していただくようお願い申し上げます。

■非常開動作はJLMA規格の-P□に示してあります。

□を表す記号

記号	錠前の種類
1	キーを用いず、屋内から開放動作で解錠し、かつ開放する非常専用錠。(ワンタッチタイプ)
2	キーを用いず、ひとつの動作で容易に解錠できる非常専用錠。(非常開装置付)
3	キーを用いず、ひとつの動作で容易に解錠できる錠。(ノブやサムターンに樹脂カバー付)

	開放方法	適合錠			
		本締錠	箱錠	グレモン錠	電気錠
	プレートを押すとデッドボルトが引っ込み解錠、開放できます。	DA-EP			AL3M-EP
	プラスチックカバーを外して緑色のツマミを回し、ハンドルを回すことにより開放できます。(本締錠のみの場合はハンドル操作は不要) カバーを割って使用するタイプもあります。	DA-E	LHS (A) -E MHS (A) -E LA-E MA-E LAT-E LAL-E	GT60-E GT50-E	AUS-E AUT-E AUTA-E AL3M-E
	円筒状のプラスチックカバー奥のサムターンを回して解錠し、さらにハンドルを回すことにより開放できます。(本締錠のみの場合はハンドル操作は不要)	DA-M DH-M	HM-M, 145HM-M MHS-M MHT-M MA-M,LHS-M LHT-M,LA-M		

場所による
非常錠の
選定方法

■非常口に適した金具

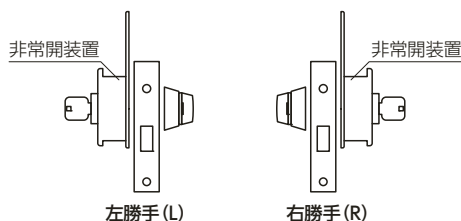
両開き扉・親子扉の防火扉にラッチを設ける場合には、親扉を開けると連動して子扉が自動的に解錠し開放可能となり、親扉を閉めると子扉が自動的に固定するフランス落しの構造とすることが望めます。それには、自動フラッシュボルトAFB02型(P498参照)が適しています。

■左右勝手があります

フロント(戸先)側から見て、非常開装置を装着する側の左右をご指示ください。(非常開装置が右側の場合は右(R)勝手、左側の場合は左(L)勝手になります。)

-2EDEの場合は「シリンダー付」が装着する側の左右をご指示ください。-4EEの場合は左右勝手不要です。

●ツマミ回転タイプの左右勝手の見方



ワンタッチ非常開装置付の場合は、フロント(戸先)側から見てワンタッチ非常開装置を装着する側の左右をご指示ください。

●プッシャータイプの左右勝手の見方

